

消費生活センターだより

No.378 2019年10月1日 羽村市消費生活センター運営委員会発行
羽村市緑ヶ丘5-1-30 TEL(042)555-1111(内640)

[羽村 消費生活センターだより](#) [検索](#)

いまが旬

オニグルミ
(和グルミ)

山間の川沿いに自生。殻が固く身を取り出すのは大変だが、オメガ3系脂肪酸が豊富で、まさに「長寿の種」。この秋、クルミを探しに野山を散策してみてください。



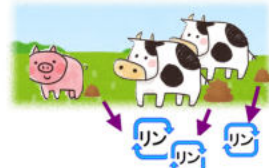
くらしの

アンテナ

リン化合物は肥料、電子部品、自動車、食品添加物、医薬品、難燃剤など広い分野で使われており、中でも化学肥料と家畜飼料添加物は、世界のリン消費量の85%を占めています。肥料の三大要素「窒素・リン酸・カリ」の一つで食料の生産に絶対必要な資源です。その「リン」がいま危機に。



リン資源が枯渇？ —リンは代替品のない貴重な資源—



世界的な人口増加で食料需要が高まり、肥料の消費が増大。リン鉱石の採掘量も増えて、埋蔵量は年々減少。“このまま消費し続けると今世紀末で掘りつくしてしまうだろう”とリン資源枯渇の危機が叫ばれています。主要産出国は輸出の規制を始めました。

すでに、米国は2001年から、中国は2008年から実質的な輸出禁止措置をとっています。2008年の「リンパニック」で価格は5倍以上高騰し、世界的に食料生産の危機的状況をもたらしています。

日本は100%輸入に頼っています。耕地面積の減少、施肥量の抑制などにより、輸入量は減少しているとはいえ、今後さらに、中国・米国以外も自国農業のために禁輸措置に動く可能性があり、日本の農業は窮地に立たされることとなります。

リン自給率ゼロの我が国は、リンの回収・再資源化の研究開発が急がれています。平成22年4月、岐阜市と民間企業の共同開発で「下水汚泥焼却灰からのリン回収技術」を実用化し、肥料を製造する日本初のプラントが完成しました。ここで製造された肥料は「岐阜の大地」という名で地元販売され、米や野菜が作られています。まさに回収リンの地産地消です。

有機農法による農作物の買い支えや食品の廃棄物を減らすことは、リンの消費量削減のため、私たち消費者にできることです。段ボール箱がひとつあれば、台所の生ごみが堆肥になります。できた土でプランター菜園。立派な“リン”リサイクルです。

—ちょっとレシピ— **くるみ餅**

1. 固いくりの殻を割る
2. 中身をていねいにほじり出す
3. すり鉢でよくすったあと、少しづつ好みの固さになるまでお湯でのばし、砂糖を加え塩で味を整える
4. 餅は焼くかレンジで温めて柔らかくする。さっとお湯で煮て、このタレをからめて出来上がり

親父の料理
女性スタッフ募集中

「親父の料理」は女性も運営スタッフとして参加できますよ〜

消費生活センター相談室からのお知らせ

チケットの転売に関する トラブルにご注意！



コンサートやスポーツなどの興行チケットのインターネットにおける転売に関する相談が増えています。

今年は「ラグビーワールドカップ2019日本大会」が開催され、2020年には「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」も開催予定であることから、今後、トラブルが増加するおそれがあります。

チケットの転売に関するトラブルを防ぐためのアドバイス

チケットを購入する際は公式チケット販売サイトかどうかよく確かめて購入しましょう。

チケット転売仲介サイトでは、チケットの価格や手数料が高額であったり、転売禁止のチケットだと気付かずに購入した場合に、キャンセルしたくてもできないケースがあります。公式チケット販売サイトと間違えて、海外のチケット転売仲介サイトから購入してしまうケースも目立っています。チケットの価格や手数料が高額でないか、キャンセル等の規約を十分に確認してから購入しましょう。

入場時に、公式チケット販売サイトからの購入者であることの本人確認が必要な場合もあります。これらの場合、転売チケットは無効にされたり、入場時に本人確認が必要で、入場できない場合があります。

転売チケットを購入する際はチケット等の規約で譲渡転売が禁止されていないか確認しましょう。

急に行けなくなった場合は公式リセールサイトを利用しましょう。

「特定興行入場券の不正転売の禁止等による興行入場券の適正な流通の確保に関する法律(チケット不正転売禁止法)」が2019年6月14日から施行されました。もし、急ぎで行けなくなった場合は、公式リセールサイトを利用して、そのチケットを希望する人へ転売することが可能な場合があるので検討しましょう。チケット転売仲介サイト等では、転売目的で入手したとみなしたチケットの販売、出品を禁止しているケースがあるので注意しましょう。

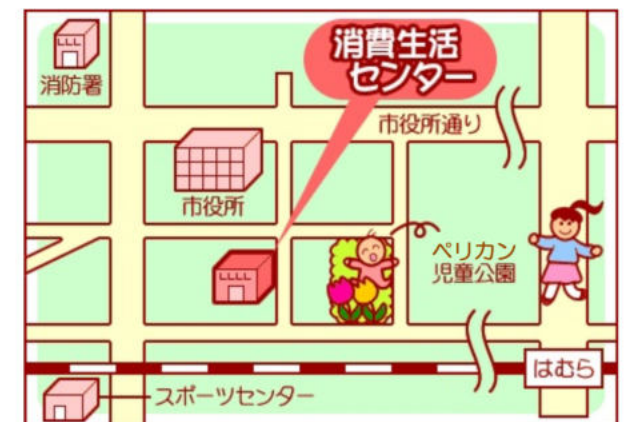
ひとりで悩まず、まず相談！
専門の相談員がお話を伺います。
(秘密厳守・無料)

相談日・相談時間
月～金曜日
午前9時30分～正午
午後1時～3時30分
TEL(042)555-1111
(内線641)



相談は、電話、来所のどちらでもお受けしております。

詳しい内容や、わからないことがありましたら消費生活相談室までご連絡ください。



羽村市緑ヶ丘5-1-30

ほうこく

DVD観ました
『はなちゃんのみそ汁』
◎8月26日(月)

はなちゃんは5歳の誕生日から毎朝みそ汁をつくり続けています。「食べることは生きること。1人でも生きられる力を身につけて」と、33歳で亡くなった母・千恵さんと約束したからです。
ご来場くださったみなさま
いっしょにご覧いただきありがとうございます。

夏の水分補給 移動消費生活センター
『飲み物、みんなどうしてますか?』
in おしゃべり場
東児童館・中央児童館・西児童館
◎8月27日(火)・29日(木)・30日(金)

発達期にある子どもたちの水分補給についておしゃべりしました。
子どもが日ごろからイオン飲料を飲んでると、1日に摂ってよい糖分量・塩分量を軽く超えてしまい思いつけないリスクがあるので、十分な配慮が必要ですヨ。
熱中症が心配！イオン飲料がいいかと。

おしらせ

第1回 一日生活教室 親父の料理
この冬、親父たちは**精進料理の真髄**を学ぶ！

日時：12月7日(土)午前9時30分～午後1時
会場：消費生活センター2F調理室
講師：宗禅寺前住職 高井正俊さん
参加費：500円(持ち帰り分・保険代含む)
定員：20名【男性・先着】
申込み：10月7日(月)午前9時～消費生活センターへ

宗禅寺の創建は1615年。鎌倉の建長寺を本山とする臨済宗の寺院。歴史あるこの寺を守る和尚直伝「けんちん汁」!! 教えてもらいましょう。

※持ち物：エプロン・三角巾・タオル・筆記用具・持ち帰り用容器
女性も運営スタッフとして参加できますよ～♡

メニュー
宗禅寺の和尚さん直伝
・けんちん汁 ・白和え など
そして、おにぎり

第3回 DVD いっしょに観ませんか 無料
「もったいない」廃棄食材救出大作戦 楽しく美味しいロードムービーです！

ゼロ「0円キッチン」
日時：11月25日(月) 午前10時～11時30分
場所：消費生活センター2階活動室

DVD・本 貸出しています。
消費生活センター1階消費生活係にお声かけください。

第50回 羽村市消費者展
今年のテーマは
できる！脱プラスチック 羽村も動いている

日時：11月2日(土)・3(日) 午前10時～午後4時
会場：富士見公園

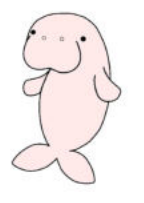
プラスチック問題に光をもたらす羽村市民の様々な取り組みなどを紹介します。あなたのアイデアも聞かせてください！

【常設コーナー】
・生ごみ堆肥・鍋帽子 ほか
【ワークショップ】
・体験しよう「レジ袋の上手な断わり方」
・知って得する「風呂敷de/バック」
・アクリルたわしでごめんなさい！
作ってみよう「布製あみあみ食器洗い」

マイクロプラスチックとは？
海に漂うプラスチックごみは、手で拾うことができず、2割、8割は5mm以下のマイクロプラスチックです。
マイクロプラスチックとは、は、プラスチックごみが紫外線や波の影響で劣化し細かくなったものと思いがち。ところが、合成繊維の服を洗濯した際に出る繊維や、化粧品、ボディソープ、柔軟剤などに配合されているものも含まれるのです。これらを家庭の排水溝からも流しているのです。
下水処理場で99%は除去されていますが、フィルター目の目を通り抜けてしまうマイクロプラスチックが、1日あたり10億個もが河川に放流されているのが現実です。

「分別して捨てている・リサイクルしている」のに、どうして海に流れていくのでしょうか。自宅ではきちんと分別して回収の日に出している。
では、周辺はどうでしょうか。道路や線路沿いにペットボトルが落ちていませんか。コンビニや駅の回収ボックスがあふれているのを見かけませんか。
そうしたプラスチックごみが風に飛ばされ、川を伝い海へ流れていきます。また、屋外で使われる洗濯パサミや日除けなどが劣化して、破片が戸外の排水溝に流れていきます。

8月末にこんなニュースが流れました「絶滅が危惧されているジュゴン」の赤ちゃんが死んだ。体内にたまったプラスチックごみが原因。最近では海洋生物だけではなくありません。奈良公園の鹿9頭もシ袋を大量に食べて死んでいます。



マイバックを持って
レジ袋の使用をやめることでプラスチックごみ全体の10%を減らすことができます。
店員さんは商品を見た瞬間に袋の大きさを決めてくれるので、レジ袋を「断る」タイミングは難しいです。商品を台に載せ、レジが始まると同時に「レジ袋は要りません」と伝えましょう。

卒フラ ここから始めよう - レジ袋とペットボトル -



プラスチックからの卒業
東京湾から直線距離で、50km離れた羽村市。多摩川を抱え、水の大切さを知り、田畑を守ることに努めてきた私たちだからこそ、起こせる行動があります。
レジ袋を1回断る。ペットボトルを1日買わない。そして、プラスチックごみを1個拾う。卒業に向かう大切な1歩。卒業に向かう「1」から始めましょう。

ペットボトル飲料メーカーも取り組みを始めています。石油の使用量を減らすための軽量化や、回収したペットボトルをリサイクルしたPET樹脂を100%用いた「リサイクルボトル」の活用が進められています。

さまざまな取り組み
ここ数年で、レジ袋の有料化とバイオマスレジ袋や紙袋などへの切り替えが進んでいます。あるコンビニでは、2030年までにプラスチック製のレジ袋の使用ゼロを目指すとしています。
市を挙げてレジ袋使用禁止を宣言する自治体や、レジ袋をゴミ袋として使用することを禁止した自治体も出てきました。

マイボトルを活用しよう
ペットボトルは軽く、世界一の自販機台数を誇る日本では、どこへ行っても飲み物が購入できます。
しかし、マイボトルも軽量化が進み、保温効果が上がっています。マイボトルでドリンクコーナリを利用できるコンビニも増えていきます。

一人、年間300枚
レジ袋の国内使用量は年間約450億枚といわれています。
あるコンビニが「紙袋とレジ袋を選べます」との調査を行ったところ、レジ袋を選んだのは男性よりも女性、そして主婦の割合が大きいの結果が報告されました。生ごみを入れる容器包装プラを入れる理由が挙げられていました。

散乱しているプラスチックごみの8割がペットボトル
清涼飲料系だけで年間約230億本が出荷、一人あたり181本を消費していることになりました。
そのうち、リサイクルされているのは84.8%。ほとんどと思われるでしょうが、35億本もが回収されないままなのです。
もし1割だったとしても、約3億本のペットボトルが海や川に流れて行っているのです。